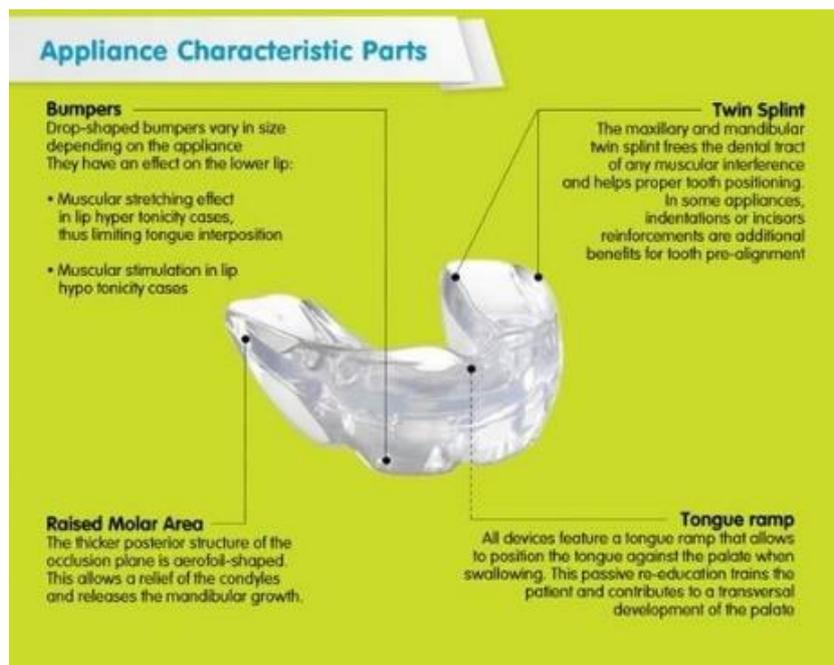


矯正治療は「小さな乳歯が生えている頃」から

東京審美会の矯正治療なら、歯の並び方を治すだけでなく、
小さなお子さまなら顎の成長を促し、自然な歯ならびの獲得を目指すことができます。
顎骨に問題がなく、軽度な歯ならびの悪さであれば、この時期ならすぐにきれいになります。

また、もし上の前歯よりも下の前歯が外に出ている“受け口”になってしまっている場合、成長に伴い下顎がより長くなり、反対の噛み合わせ“受け口”の程度がひどくなってしまいます。

東京審美会では、
ご家庭でお口に入れて噛んでいるだけで、顎の本来の大きさへの成長を促し、
歯ならびの乱れや、反対の噛み合わせを自然な形で修正していく
やさしい“フランス製の機能訓練矯正装置”を取り扱っております。



〈フランス製の機能訓練矯正装置〉

また、成人の方でも舌の位置を是正する場合など、適応症となるものがございます。
詳しくは東京審美会へ ご相談ください。

矯正＝歯を抜かれる、ではありません！

“矯正”といえば、「歯を抜く必要がある」とお思いの方も多くいらっしゃいますが、実は、**小学生のころであれば歯は抜かなくても矯正することができるのです。**

しかも東京審美会なら、きれいな最高級セラミックまたは、サファイア製矯正装置で治療することができます！

キラキラと目立つ矯正装置が恥ずかしくて治療に踏み切れない！というのは過去の話です。

ところでみなさんなら、『歯を抜く矯正』と『歯を抜かない矯正』ができるのならどちらをお選びになりますか？

わざわざ歯を抜かないで済むのであれば、おそらく『歯を抜かない矯正』ではないでしょうか？

きっと**“歯を抜かないで歯ならびをきれいにしたい！”**“**歯を抜かない治療をしたい！”**と思うことでしょう！

そもそも“歯ならびの乱れ”は、歯の大きさと、顎のスペースと関係があるのです。

歯が並ぶだけの十分な顎の大きさがなければ、まるで椅子取りゲームのようにはみ出した歯が歯列に入り込もうとして、歯列が乱れガタガタになってしまうのです。

つまり、**顎の発達が不十分でスペースが狭くなっていると、後から生えた歯は必死に歯列に入り込もうとして、歯列がガタガタになっていくのです。**

ということは…**顎骨の成長が旺盛な小学生のころにご相談にいらしていただければ、顎の成長を上手に促しながら歯を順番に並びそろえることで、ほとんどの場合、歯を抜かなくてもきれいに並べることができるのです！**

“歯を抜かない矯正”は何歳まで可能なのか？

基本的には、6歳～10歳ぐらいまでにご相談いただいたお子さんが対象になります。

それ以降、小学校高学年以上からの場合は、“歯を抜く矯正”が一般的です。成人でも“歯を抜かない矯正”と称して拡大を行う場合がありますが、成人の場合には、歯列が、舌と頬の筋肉の働きが均衡を保っているところに無理に拡大を行うことになり、矯正後に後戻りをしやすい傾向があります。

顎の成長が止まってしまいう前であれば“歯を抜かない矯正”できれいな歯ならびにすることができます。

東京審美会なら成長がまだ続いているか、止まっているかを判断できる診断装置により正確な診断を行うことができます。

歯を抜かない矯正法はお子さんにとっても、笑顔の治療法です。



成長期では、このような軟骨がはっきりとしています。背もゲンゲンと伸び、顎の成長も旺盛です！

お子さまに将来、世界の舞台に立った時に恥ずかしくないように！
そして素敵な方と出会った時にも明るい笑顔で楽しくコミュニケーションがとれるように！
かけがえのない美しい歯ならびをプレゼントしてみませんか？

歯の矯正は小学生の頃からスタートがお薦めです

ヨーロッパやアメリカに行くと“きれいな歯ならびの成人”未来の夢に向かって“歯ならびの矯正をしている子供たち”が大勢います。

「歯ならびを悪いままにしておくということは、恥ずかしいこと！」

「身だしなみのきちんとしていない人！」

特に、海外では歯の治療費は高いため、そうみなされる傾向が強くあります。

きれいな歯ならびなら、背骨はまっすぐに成長できます。小学生の頃に矯正をスタートすれば、歯を抜かないで歯ならびをきれいにすることができます。東京審美会では、お子様も、歯の動きを楽しんでいます！特に東京審美会のお子さまへの矯正への取り組みとして、

- ・ 歯を抜かない矯正により、痛くない怖くない治療を行う
- ・ 歯並びだけでなく、背骨もまっすぐに成長を促す
- ・ 虫歯から歯を守るためにフッ素塗布を定期的に行う
- ・ 写真やレントゲンを撮って、虫歯ができていないかチェックする
- ・ 歯ならびのカーブや曲線の美しさにまでこだわり、美しいスマイルラインをつくる

といったことに取り組んでいます。

東京審美会は、矯正治療をもっと身近なものとしてみなさまに利用していただけるように尽力しております。お気軽にお問い合わせください。

子どもの“歯を抜かない矯正”は信頼できる歯科医に

お子さまの“歯を抜かない矯正”がみなさまに広まったのはいいことですが、成長の予測をしながら矯正治療を行うことは決して生易しいものではありません。

最近では、“他院にてうまく治療がいかなかった方”がご相談にいらっしゃることも増えてきました。

- ・ただ、ひたすらに歯を拡大されて、上、下はそれなりに並んでいますが上下の歯を噛み合わせると、まったく位置があっていないというひどいケース
- ・前歯がしっかりと噛み合うことができないオープンバイトになってしまったケース
- ・右または左で噛んだ時に、反対側が浮いている片側咬合になってしまっているケース
- ・ひどい場合だと、技工士さんに製作してもらった床矯正装置を患者さまがお口にはめて拡大するだけで、担当医師がまったく矯正治療を行っていないというケース
- ・無理な拡大で噛みあう歯同士の角度がおかしくなっているケース

矯正治療のやり直しは大変なお時間がかかります。

あなたの担当医は、最初から専門的な矯正治療技術の十分な研鑽、豊富な治療経験がありますか？矯正診療に際し患者さまのご希望に丁寧に耳を傾けてくれますか？

あなたの通う医院は、矯正治療に必要なセファロ・レントゲン・システムや顎の成長を判断する手根骨の骨端軟骨を撮影できるレントゲン・システムがきちんと備わっていますか？

子どもの“歯を抜かない矯正”は、お1人お1人の十分な診療時間をはじめ矯正診療を行う環境が万全に整っている医院での矯正をお薦めします。

ぜひ、東京審美会にお任せください。

子どもの矯正は顎の成長を正確に予測することが大切

東京審美会に導入されているドイツ・シロナのデジタル・レントゲン・システムなら手の手根骨を1枚撮影するだけで骨端軟骨の程度からどのくらいの顎の成長が望めるかを正確に診断することができます。

主には、顎の成長を予測するために診断しておりますが、成長期間は成長ホルモンによる全身的な作用であるため、あとどれくらい背が高くなるのか、あとどれくらいの期間成長期が続くのかも、同時に判定することができます。

“歯を抜かない矯正”の強行は危険です

“顎と歯の大きさの調和がとれない見込み”であるのに“歯を抜かない矯正を行った場合”や、“歯だけを無理に拡大して並べた場合”は、**対合歯と許容範囲以上の角度でぶつかるよう**なったり、または、**対合歯と噛み合わなくなってしまう**たりと、決して安全とはいえません。

言うまでもないことですが、私たちは、そのような場合でも“歯を抜かない矯正”を行うものではありません。

手の指の骨端軟骨の診断から成長の予測を正確に行い、顎骨のスペースと萌出してくる歯の大きさ、スピー彎曲やモンソンのカーブなどの歯列の描くカーブの大きさ、顎骨のセファロ分析による下顎骨の角度の大きさ、咬合力の強さの予測など、複数の精密な診断に基づいて“歯を抜かない矯正”が安全にできると診断した場合に、はじめて歯を抜かないで矯正することができるのです。

多くの場合、**歯を抜かないで矯正が可能な臨界期が、顎が成長期の8～12歳までの小学生の頃**になるのです。治療期間を考えますと遅くとも**10才頃までには、治療のスタートを切る必要がある**と考えています。

大切なのは、歯ならびのことだけを考えるのではなく、噛み合わせ、美しさ、まっすぐな背骨、歯肉の美しさなどをトータルに考えてあげられるかどうかということ。

東京審美会は、美しい矯正はもちろん、機能的な矯正にこだわります。

東京審美会の歯科矯正サクセスストーリー

CLASSIII Deep Bite 症例に対し、矯正学的アプローチで治療した症例

(術者 中田圭祐)



他院で“大学病院での下顎切断手術”の説明を受け、怖くなって来院されました。
上顎の歯は、下顎の歯の後ろに完全に隠れてしまっています。



成長を最大限に生かす審美会の特殊な矯正治療法にて、治療を開始



治療の働きかけにより上顎の骨は成長し、上顎の歯は、だんだんと持ち上がっていきます



上顎の骨の成長をさらに促進させています。同時に下顎の骨は、下に下げるように治療を開始しています。



上顎の歯が、下顎の歯の外側にジャンプできました。



非抜歯で治療完了！ 成人矯正歯科学会で発表しました！

つまり顎の大きさに十分な余裕さえあれば、歯はバランス良く、自然にキレイに並んでくれるのです。多くの場合では、歯が生えてくる方向が悪くても、頬や舌の働きを訓練することによって自然と、歯にとって最もいい位置に歯を誘導することができます。

東京審美会の歯科矯正サクセスストーリー

審美歯科治療は、“歯そのもの”の形態が悪い場合、歯の色調に問題がある場合やどうしても治療時間に制約がある場合に有効な治療です。

東京審美会では、**最良の審美を実現するために伝説の技工士を指名、精密な治療と際立つ美しさ**で、あらゆる患者さまのご要望に応じています。何度も入念な形態の打ち合わせ、歯の色調の打ち合わせを行い患者さまのご希望される歯の完成をお約束します。

精密な仕上がりももちろん、歯の美しさ、デザイン、色調が患者さまのイメージとなるまで伝説の技工士も真剣に向き合うところも、他院にはない大きな特徴です。どうぞ東京審美会にお気軽にご相談ください。

歯ならびとともに、歯の形、歯の色調の改善もご希望された審美症例（術者 中田圭祐）

〈治療前〉生まれつき歯の色が気になる患者さま歯ならびとともに、歯の色調の改善を希望されました。



〈治療中〉まず、上顎の歯ならびと、個々の歯の形態と色調を直しました。患者さまの気に入るデザインになるまで何度も何度もプロビジョナルを作り直しました。



〈治療後〉下顎の歯も同じようにきれいに治しました。患者さんの気に入ったデザイン、気に入った色調の歯で、理想的な噛み合わせに仕上がっています。



まず、東京審美会では、色合わせの時に、隣の歯をクリーニングして本来の色調をマッチするように色合わせを行っています。色合わせのためのクリーニングは東京審美会ならではのものだと思います。

歯の根元はピンク色を強調したい！
先端部分は透明感を強調したい！

そのような場合など、専属の技工士さんが色のグラデーションを立ち会ってくれます。

また、技工士さんが立ち会っていますので、色のご希望や形態なども、直接お話いただけます。さらに試しに歯を、実際に入れてみて、歯の色がイメージ通りでない場合などは、焼き直しも！お気軽にご相談ください。

東京審美会の歯科矯正サクセスストーリー

時間的な制約から審美治療にて歯ならびと、噛み合わせの改善を図った症例

(術者 中田圭祐)

矯正歯科治療には、時間的な問題があるという患者さま
審美歯科治療をお選びになりました。

〈治療前〉 歯が大変に混雑していて、他院では治療が難しいとのことでした。



〈治療中〉 まず、仮の歯（プロビジョナル）にて歯のイメージを作ります。下の歯の位置を決めることで、前歯の突出具合が決まります。



〈治療後〉 審美治療で、短期間で素敵なスマイルを手に入れることができました。



審美歯科治療は、時間的な制約がある患者さま、歯ならびだけでなく、歯の色、歯の形態も改善したいとご希望される患者さまに向いている方法です。精密加工のできる美的センス

の優れた歯科技工士と、精密根管治療、むし歯を発生させない衛生的な歯科処置、辺縁封鎖のできる術者の技術力が必須の高度技術です。